



コープリハビリテーション病院・老健あかねだより

No.131 2024年7月号

倉敷医療生活協同組合
コープリハビリテーション病院
〒712-8057 倉敷市水島東千鳥町1-60
TEL 086-444-3212
老人保健施設 老健あかね
TEL 086-446-6541

コープリハビリテーション病院は、川崎医科大学附属病院と倉敷中央病院との連携病院です。



理学療法士による集中的リハビリで
下肢筋強化と移動安定を

「それぞれの目標を設定しての課題設定リハ」
当施設は、リハビリ介入に力を入れており、3人以上のリハビリ専門職を配置しております。担当医とのリハビリ会議で、在宅生活を継続するための課題を抽出して、マシンではなくリハビリ専門職と

「それぞれの目標を設定しての課題設定リハ」

老健あかね通所リハビリテーションは、老健あかねの1階で、月曜～土曜日の各曜日に40～45名の利用者が参加されています。6時間半の滞在時間中に、リハビリ、入浴、食事、趣味活動など目的に合わせて過ごされています。6時間半は、長くて不安があるという利用者様には、短い提供時間枠もあります。



看護師による痰の吸引で気道をクリアに

難など日常生活に大きく支援が必要な方の受け入れも行っています。看護師を多く配置しており、経管栄養や褥瘡ケアなど看護介入が必要な方への対応も可能です。自宅での入浴を想定した家庭浴槽のほか、浴槽へのまたぎが

「重度介護医療介入が必要な方の受け入れ」

のマンツーマンでリハビリを行っています。楽しく会話をしながら、またその日の体調に合わせて訓練量を調節して介入しております。

不安な方への機械浴、重度介護者対応が可能な特殊寝台浴の3種類の浴槽が配置されています。必ず職員が介助に入り、難しい作業は支援させていただきます。
「栄養面に配慮した食事」
しっかりと栄養を摂れることで、より良いリハビリ効果が生まれます。嚥下機能に合わせて食事形態を変更、苦手な食材があれば代替品を準備することも可能です。また、ご自宅での食事内容に不安がある方には、管理栄養士との相談もできます。
ご自宅での生活を長く過ごすため、リハビリ、健康管理などの支援をさせていただきます。ご自宅までの送迎サービスも実施しており、安全・安心に利用できるように配慮しております。ご利用の検討をされる方は、見学も受け入れておりますので、担当のケアマネもしくは当事業所までご連絡ください。
(老健あかね
通所リハビリテーション
責任者 山本武範)

集中的リハと医療的ケアで (胃ろう管理・痰の吸引など) 安心できる自宅生活を支えます

老健あかね通所リハビリテーション



虫歯治療練習中の筆者

5月から7月にかけて、コープリハビリテーション病院及び老健あかねにおいて、外来での歯科診療や病棟での口腔ケアに週1回同行させていただきます。
普段の歯科用チェアではなく、ベットサイドでの口腔ケアをはじめ、意思疎通が難しい方に対する治療やコミュニケーションなど、学生時代の大学病院での実習とは違う歯科研修を体験し、見識を深めることができました。
この研修を通じて、1人の患者さんに多くの方が関わって



臨床研修歯科医
山崎功世

今回の病院歯科研修は、私自身に新たな気づきを与え、歯科医師として成長するために必要な勉強をさせてくれる非常に有意義なものでした。ありがとうございます。
(医療生協水島歯科診療所
臨床研修歯科医 山崎功世)

コープリハビリテーション病院での臨床研修プログラムに参加して

ていることを実感することができました。患者さんやその家族をはじめとする「チーム医療」。一般的な歯科医院では、歯科医師や歯科衛生士など、多くとも4職種による連携ですが、病院歯科においては、それを優に超える職種の方々が携わっているのを目の当たりにして、改めて医科歯科連携の重要性に気付くとともに、歯科に携わる者もこの「チーム医療」の一員となり貢献できることは多くあると感じました。

入院や入所に際して、部屋代はいただいません。

老健あかねの役割



施設長 服部俊夫

士などの専門スタッフが常駐しており、利用者が在宅生活に戻れるようにリハビリテーションに力を入れています。例えば、退院直後の自宅での生活に不安がある方には、老健はおすすめの施設といえるでしょう。

介護老人保健施設（老健）は要介護高齢者（要介護1以上）が自宅復帰を目指すための介護施設です。医師による医療ケアや作業療法士などからリハビリテーションを受けることができます。

また、老健には利用者一人ひとりに合わせた使い方ができる特徴があります。あかねには、理学療法士や作業療法

士などの専門スタッフが常駐しており、利用者が在宅生活に戻れるようにリハビリテーションに力を入れています。

実際様々な悩みを抱えた高齢者が熱心にリハビリに取り組んでいます。通常の生活では機能や知能が徐々に落ちていく方々の歩行機能、知能機能、生活機能が徐々に上がっていくことを科学的指数を用いて、観察しています。

障害にあった方たちの原因は多様ではありますが、その生涯から立ち直るレジリエン

自宅生活を想定したスケジュール作成と課題の見える化で不安を解消

リハビリ新人発表報告①

慢性硬膜外血腫を発症した方でご本人の性格と生活背景を元に暮らし方を想定したアプローチによって一人暮らしを再開できた症例を発表しました。入院時は不安な気持ちでいっぱい何をしたらいいのかわからない様子でした。そこで、一人暮らしのため不安な課題をご本人と話し合い、スケジュール管理や入

浴動作、食事の準備などが挙げられました。まずはマメな性格を利用し、スケジュールを作成しました。退院後はヘルパーなどのサービス利用も想定して、リハビリ内容を曜日で固定し生活のイメージを作成しました。

また実際に浴室で入浴動作を行いながらご本人と安全な方法を検討（表1）したり、食事準備に関してはコンロから1日に変更して調理を行ったりと実践的な練習を繰り返していました。



リハビリ新人発表をしている筆者

よろしく 願います



事務課 小川真緒

退院までの課題	優先度	遂行度 (入院→退院)	満足度 (入院→退院)
屋内外の移動	10	1 ⇒ 6	3 ⇒ 6
安全なお風呂の出入り	10	1 ⇒ 6	1 ⇒ 5
食事の準備	9	1 ⇒ 7	1 ⇒ 7
週間スケジュール管理	8	3 ⇒ 9	3 ⇒ 9
ゴミ捨て	8	1 ⇒ 7	1 ⇒ 7

表1 退院に向けた課題の優先度選定と到達度の見える化

こうした患者様の性格や生活背景を重視した介入により「これならできそう」と自信が持てた様子でした。

最後に、発表までの準備を行う上で、振り返り、考察する中で考え方を整理し、再学習することができました。今後も患者様の性格やこれまでの背景に着目し、臨床に活かしていきたいと思えます。

（コープリハビリテーション病院 作業療法士 岡下咲希）

5月から生協会館の経理課より異動してまいりました。新卒で8年前に医療生協に就職して、初めての異動、医療現場での業務で、一から学ばせていただくことがたくさんあります。気にかけてくださらないことがたくさんあり、一日が驚くほどあっという間に過ぎて、焦ってしまうこともあります。

経理課にて今まで学んできたことを生かしながら、新たなことを学び、頑張っていきたいと思えます。どうぞよろしく願います。

（コープリハビリテーション病院 事務課 小川真緒）

新入職員紹介



コープリハビリテーション病院 3階病棟 看護師 三宅 典子
コープリハビリテーション病院 管理栄養士 板野 裕美

診療表		コープリハビリテーション病院 外来受付時間 8:30 ~ 12:00 [086-444-3212]		老健あかね [086-446-6541]	
診療時間	月	火	水	木	金
外来	午前 9:00~12:30	午後 14:30~15:00	午後 9:00~16:50	午後 9:30~11:00	
装具外来					
歯科					
短時間通所リハビリ					
短期集中健幸アップ教室					
訪問リハビリ					
通所リハビリ					

医療福祉相談・連携室	
相談受付時間	平日 9:00~12:00 13:30~16:30 土曜日 9:00~12:00 日・祝日 休み

○お問い合わせ先
倉敷医療生活協同組合
コープリハビリテーション病院
老人保健施設 老健あかね
TEL 086-444-3212(代表)
受付時間 平日 9:00 ~ 16:30
土曜日 9:00 ~ 12:00
(日祝・年末年始を除く)

〒712-8057
倉敷市水島東千鳥町1-60
ホームページ: <http://coopreha.jp/>
メールアドレス: info@coopreha.jp
広報委員会
発行責任者 笹館 勝人

老健あかねは、通所リハビリ・訪問リハビリ・短時間通所リハビリとの連携をしています。